

「ニチレイグループと社会課題」の歴史

ニチレイグループは、「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というミッションのもとこれからも、より良い社会づくりに貢献していきます。

ホームページでは、さらに詳しい情報を掲載しています

- ニチレイフーズ ▶ <http://www.nichireifoods.co.jp/>
- ニチレイフレッシュ ▶ <http://www.nichireifresh.co.jp/>
- ニチレイロジグループ ▶ <https://www.nichirei-logi.co.jp/>
- ニチレイバイオサイエンス ▶ <https://www.nichirei.co.jp/bio/>

社会の状況

1940年代 戦後復興期
食糧難

1960年代 高度経済成長期
衛生問題
食の洋風化

1970年代 第2次
ベビーブーム
200海里規制による
漁業制限

1980年代 女性の社会進出による時間不足
電子レンジの普及

1990年代 価値観やライフスタイルの多様化
地球環境重視の時代
食料自給率の落ち込み

1986 男女雇用機会均等法施行

1997 京都議定書 採択

ニチレイの歴史

1940年代

1950年代

1960年代

1970年代

1980年代

1990年代

2000年代

1942 帝国水産統制株式会社の設立



1943 水産物の買入・販売
ならびに製氷・冷蔵・
凍結事業を開始

1945 日本冷蔵株式会社に
商号を変更

1956 畜産事業の開始



1952 調理冷凍食品の
販売を開始

●冷凍による食品の
保存性・簡便性の向上



1960年当時

1977 運送取扱い子会社を
設立し、運送事業の
開始



1975 国内水産物から
輸入水産物主体の
取扱いに移行

●200海里規制、食料需要への対応

1982 バイオテクノロジー分野
へ進出

1984 事業目的に医薬品、
医薬部外品および
試薬の製造・売買を追加

1985 株式会社ニチレイに商号
を変更



1986 中高生のお弁当シリーズ発売

●お弁当作りの時間短縮、
メニューのバラエティー化

1990 物流事業を本格的に開始

1998 サードパーティー
ロジスティクス事業へ進出
(2000年11月に現・
㈱ロジスティクス・プラン
ナー(連結子会社)を設立)



1997年当時

1995 電子レンジ調理用コロッケが、
日経優秀製品・サービス賞優秀賞を受賞

●レンジ調理対応の揚げ物を開発し調理の手間を軽減

2005 会社分割を実施し、
ニチレイグループは
持株会社へ移行

2005 中国(山東省)に
おいて、株式会社日清製粉
グループ本社との合併会社
「錦築(煙台)食品研究開発
有限公司」(関連会社)を設立

2008 ニチレイフーズが、合併で
タイ国内にチキン事業を行う
子会社を設立
(GFPT Nichirei (Thailand)
Company Limited)

ニチレイフーズ

ニチレイフレッシュ

ニチレイロジ グループ本社

ニチレイバイオ サイエンス

1955 米領サモア島に出張所(1968年5月閉鎖)を
設置し、マグロ事業を開始

1957 オセアニア産牛肉の輸入

●食料需要への対応

1952 東京工場を設置
(日本初の超低温・大型冷蔵倉庫)

●冷凍保存技術により食糧難や衛生問題を解決

1977 輸配送事業により保管から店舗への
納品までコールドチェーンを拡大



1989 ニチレイ・ホールディング・
オランダB.V.の設立
欧州事業の基礎基盤構築



2007 純国産鶏種「純和鶏」の
養鶏・販売事業の
立ち上げ

●食料の持続的自給への対応

1993 大都市圏(関東・関西)大手小売業者様の
専用物流センターを新設。
本格的にTC(トランスファーセンター)事業を開始

●共同配送により社会全体のCO₂を削減

1987 医薬開発室の発足



2002 免疫組織化学染色
診断薬「ヒストファイン」
シリーズを発売

●個別化医療への貢献

2004 インフルエンザ
診断薬の販売開始

●迅速検査の実現